



げんきっこだより



箱根教育合言葉 「箱根を愛し かしこく やさしく たくましく」 箱根町立宮城野保育園 令和4年7月19日(火)

読み聞かせ会

3年ぶりに読み聞かせボランティアの方に来ていただき、幼児クラスで読み聞かせをして頂いています。ボランティアの方は、宮城野の勝俣幸子さん。強羅の田村治美さん。箱根の岡野恵美さんです。読み聞かせ会は、毎月1回第3水曜日に行っています。今月は13日に行い、どのクラスも今年度2回目でしたので、とても楽しみにしていて興味深く見ている姿がありました。ボランティアの方も子ども達の年齢や発達、興味関心がどこにあるのかを聞いてくださり、絵本選びも入念で、子ども達に会うのを楽しみにしてくれています。次回は9月の誕生日会で、大型絵本を読んで頂くことになりました。いつも読んでいる担任の先生の声に慣れている子ども達ですが、声のトーンや、読み方、読みまわし等違う人に読んでもらうことで、子どもの感じ方も変わります。夏休み中は、ぜひ、お母さん、お父さんはもちろんのこと、兄弟、祖父母等色々な人に読んで頂けるといいですね。



納涼大会

7/13

感染拡大を鑑みて今年度も、保護者の会の役員さんと園児、職員で納涼大会を行いました。役員さんのお店は、手作りの空き缶積み上げとドラえもんドラ焼き投げ、スーパーボールつかみの3店でした。5歳児は、わなげ。トントン相撲。紙飛行機とばし。ボールころがし。あやとりやさんです。室内で行いましたが、どの店も笑顔あふれる楽しいお祭りになりました。後半は、戸外でダンスをしました。年長児のソーラン、まつりりの踊りは、大きな声で、自信を持って踊り、圧巻でした。最後に打ち上げ花火をしました。昼間ですので、綺麗！というまではいきませんでしたが、音と、火花に夏を感じ、歓声を上げている子ども達でした。保護者の会の役員の方々子ども達に楽しい企画をありがとうございました。5歳児保護者の皆様、参観ありがとうございました。



今年は、梅雨が早く開け、猛暑日が続いていたと思っていましたら、梅雨の戻り。不安定な天候が続いています。

それでも子ども達は、毎日元気に登園し、2年ぶりのプール遊びに歓声が響き渡っています。乳児クラスも水遊びが大好きで、噴水が出るシートやシャワー遊びを楽しんでいます。

あっという間に1学期もあと1日で終わります。進級、入園して4ヶ月が経ちました。園の生活にもすっかり慣れて、朝の挨拶も元氣よくなしながら登園し、先生や友達との生活や遊びを楽しみ、どのクラスの子も心も身体も大きくなってきたのを感じています。

21日から夏季保育が始まります。幼児クラスは、合同保育です。いつもの生活と少し違い、担当職員も変わることがあるので、戸惑う姿がみられるかと思えます。一人一人の心の変化に寄り添い、保護者の皆様と連絡を取り合っ、安心安全な保育を心掛けて行きたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

毎日、驚くようなコロナ感染者数になっています。箱根も観光客が増えていますので、感染予防対策をしながら外出するようにして下さい。登園時の検温、消毒、マスク（保護者）のご協力をお願いします。

体操教室

7/15

年長児は、遊びの中で、鉄棒や縄跳び、運動遊びに興味を持つ子ども達が多くなり、跳び箱や前転、側転などいろいろなことに挑戦する気持ちが出てきています。そこで、安全にまた、意欲的に運動遊びが進めていけるよう体操の先生として小清水先生に来ていただきました。小清水先生は、学生時代体操部でインターハイに出たことがある経歴の持ち主で、以前も子ども達に教えていたそうです。（実は年長担任の希美先生のご主人です）15日は、まず先生に見本を見せていただいた後、子ども達に手とり、足とりで前転、側転、跳び箱、鉄棒を教えて頂きました。職員も指導の仕方や補助の仕方を見せて頂きとても勉強になりました。年長の指導の後、ゆり組、もも組も参加して挑戦する姿がありました。秋の保育参加までにいろいろな運動遊びに興味を広げていけるように環境や遊びを工夫していきたいと思えます。

